

第51期 第2四半期株主通信

平成23年4月1日から平成23年9月30日

TAKAMAZ

高松機械工業株式会社

[証券コード6155]

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成23年9月30日をもちまして第51期第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日)を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに第2四半期決算の状況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 **高松喜志**

■ 当第2四半期連結累計期間の市場動向および成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や電力不足問題などの不安要素がありながらも、生産活動が回復に向かい、緩やかに改善してきました。しかし、円高が更に進み、海外経済の減速感も強まってくるなど、景気下振れリスクが存在していました。

工作機械業界におきましては、中国経済の減速や円高などの懸念材料で先行きが楽観視できない状況にあるものの、平成23年9月まで22ヶ月連続で月次受注額が前年同月を上回っております。

当社グループにおきましては、堅調な需要増加に対応して、市場シェア拡大のために受注確保をはかってきました。特に高い需要があるタイ市場では、現地連結子会社にてプライベート・ショーを開催し、積極的な営業活動に注力してきたほか、欧米市場でも需要が回復していることから、アメリカ

でのオープンハウス開催やEMO2011(ドイツ)出展などを行ってきたことによって、前年同期を上回る多くの引合・受注を獲得してきました。

中国市場では、新設した喜志高松貿易(杭州)有限公司によって、新規ディーラ開拓とタカマツブランドの市場浸透を推進し、販売力の強化をはかってきました。

また、国内市場でも自動車業界からの需要が回復してきていることから、本社工場で開催した設立50周年記念プライベート・ショーやMECT2011(名古屋)出展で新製品を紹介して、その需要を取り込んできました。

研究開発におきましては、当社グループにとって初の本格的な複合加工機となる「XB-1000」を開発したほか、従来機のモデルチェンジとして、更に生産性を向上させた「XY-120 PLUS」を開発しました。

以上のような営業活動を行ってきた結果、堅調に受注を増加させることができ、当第2四半期連結累計期間の工作機械受注高が58億15百万円(前年同期比36.2%増)と

なり、売上高が63億21百万円(同32.9%増)の増収となりました。また、営業利益が1億40百万円(前年同期は2億10百万円の営業損失)、経常利益が1億71百万円(前年同期は1億84百万円の経常損失)、四半期純利益が1億1百万円(同406.8%増)となりました。

■ 今後の見通し

日本経済の先行きは、東日本大震災からの復興需要が期待されていますが、円高や海外経済の停滞によって企業収益が減少することなどで景気が悪化する懸念が残り続け、不透明なままであります。

工作機械業界におきましては、外需がけん引している状況であることから、中国の金融引き締めや欧米の財政問題による世界経済の先行き不透明感、円高による競争力低下の恐れがあるものの、工作機械の需要は堅調に推移し、回復局面が継続すると見込まれています。

このような状況の中で当社グループは、プライベート・ショーや各地の展示会でいただいた引合に対し、ユーザに適切なソリューションを提案するなどの積極的な営業活動を展開していくことで、受注へとつなげていきます。

海外市場の中でも特に需要が高かったタイ市場では、断続的な降雨によって発生した洪水により、当社のユーザが被害を受けました。ユーザの被害情報の収集に努め、サービス対応や工場の復旧対応を進めていきます。中国市場では、更なるタカマツ

ブランドの浸透と市場拡大のために、喜志高松貿易(杭州)有限公司の営業力強化や、現地生産している杭州友嘉高松機械有限公司の生産力アップをはかっていきます。

また、ユーザの高い環境意識や電力不足問題対応に役立つことができる当社の環境対応製品をよりアピールしていくとともに、更に環境負荷を低減させた省エネ・省スペースな製品開発を進めていきます。

現在の堅調な需要に対応していくために、生産の強化も推進していきます。社内の生産体制を強化していくだけではなく、設計や組立において外注を活用していくことや、新たな調達先の開拓も行っていくことで、生産台数の増加やリードタイムの短縮に努めます。

IT関連製造装置事業や自動車部品加工事業では、新規受注のための営業や適切な生産を行っていくことで売上高を確保するとともに、コスト削減を推進し、利益につなげていきます。

なお、上記のような取り組みや第2四半期連結累計期間の実績から、平成23年度連結業績予想を見直し、売上高140億28百万円、営業利益8億72百万円、経常利益9億59百万円、当期純利益5億87百万円に上方修正しました。

当社グループは、全社一丸となって目標の達成に向けてまい進していく所存でありますので、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成23年12月

会社設立50周年記念



家族職場見学会 (平成23年10月15日開催)

社員の家族の皆様へ、当社をより身近に感じていただくと、3年ぶりに家族職場見学会を行いました。

各部門長の案内で社員と家族が事務所や工場を見学し、社員食堂で一緒に食事をとったり、模擬店で子供と仲良く遊んだり、笑顔の絶えない和やかな見学会になりました。

子供達は親の働く職場に興味津々な様子で、中にはデスクに座って仕事のマネをする場面も見られました。

家族職場見学会を通して、当社への親近感や家族間の絆が深まる良い機会になりました。

プライベート・ショー (平成23年8月24日、25日開催)

会社設立50周年記念として、主な販売代理店やユーザを対象としたプライベート・ショーを本社工場で開催しました。

会場には新開発の複合加工機「XB-1000」や、台湾・友嘉実業グループとの連携マシン「VMP-30A」など、多数の製品を展示しました。

会場では活発に商談が行われ、多くの引合や受注をいただき、大盛況のうちに閉会することができました。



厚生労働大臣感謝状を受贈

当社では社会貢献の一環として年2回、本社にて献血活動を行っており、多くの社員が献血に協力しています。

これまでの活動が認められ、献血成績優良団体として厚生労働大臣より感謝状をいただきました。

今後も継続して献血活動を行い、社会に貢献していきます。

職場紹介 (自動車部品加工事業)



自動車部品加工事業は、第2工場と併設された第3工場で行われており、男性10名、女性1名の合計11名が毎日明るく仕事に取り組んでいます。

当事業では、自社製品による全自動化ラインで多種多様な部品生産を行っています。

その1つとして、自動車に組み込まれているスタータハウジング(エンジンの始動用装置の一部)の加工や組み付け作業を、24時間稼動で行っています。主な納入先は(株)デンソーであり、部品の多くがトヨタ車に使われていますが、フォルクスワーゲンやポルシェなどにも使われています。

全自動化ラインのメリットとして、はじめに材



料をセットすれば、「加工→組み付け→排出」までの作業を全て自動で行うので、手作業と違い部品1つ1つの品質にムラがなく、安定した品質の部品を作ることができます。更に全自動で行うことで作業者を最小限に抑えることができ、人件費削減にもつながります。

当事業ではこの全自動化ラインを10ライン保有し、最大で月30万個の生産が可能となるフレキシブルな生産体制を確立しています。また、従業員1人ひとりが加工セッティングの変更や加工時間の短縮といった改善活動を積極的に行い、より効率の良い生産体制を作りあげることに励んでいます。

このような改善活動や24時間稼動で蓄積した加工ノウハウは、新たな工作機械開発へ活かすことができます。工作機械事業との相乗効果を発揮するとともに、売上・利益でも会社を支える柱となるよう、全員一丸となって頑張っています。

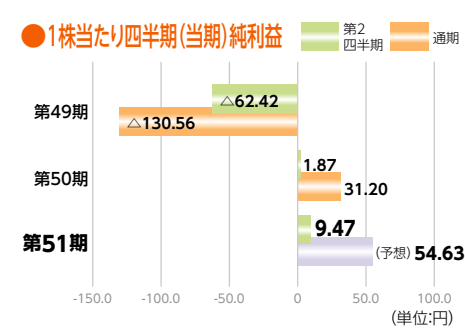
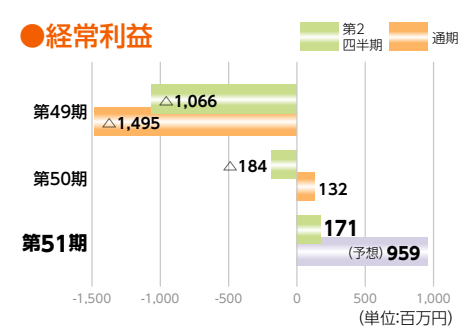
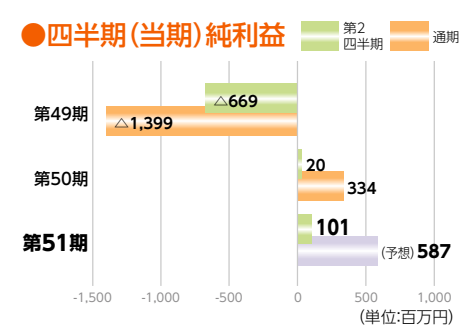
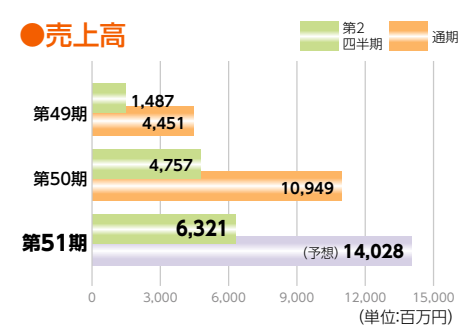


業績の推移

連結業績ハイライト

科 目		第49期 (平成21年度)	第50期 (平成22年度)	第50期第2四半期 (平成22年度)	第51期第2四半期 (平成23年度)
売上高	(百万円)	4,451	10,949	4,757	6,321
営業利益又は営業損失(△)	(百万円)	△ 1,737	83	△ 210	140
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	△ 1,495	132	△ 184	171
四半期(当期)純利益 又は当期純損失(△)	(百万円)	△ 1,399	334	20	101
純資産額	(百万円)	7,849	8,129	7,845	8,204
総資産額	(百万円)	11,339	14,343	12,377	14,915
1株当たり四半期(当期)純利益 又は当期純損失(△)	(円)	△ 130.56	31.20	1.87	9.47
1株当たり純資産額	(円)	727.22	752.50	726.51	757.27

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



第2四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科 目	前期末	当第2四半期末
	(平成23年3月31日現在)	(平成23年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	8,721	9,628
現金及び預金	2,418	1,910
受取手形及び売掛金	4,299	4,973
商品及び製品	244	459
仕掛品	670	1,045
原材料及び貯蔵品	700	720
その他	392	524
貸倒引当金	△ 4	△ 4
固定資産	5,621	5,286
有形固定資産	4,415	4,259
建物及び構築物(純額)	1,029	985
土地	2,332	2,326
その他(純額)	1,054	947
無形固定資産	31	25
投資その他の資産	1,174	1,001
その他	1,175	1,002
貸倒引当金	△ 0	△ 0
資産合計	14,343	14,915

科 目	前期末	当第2四半期末
	(平成23年3月31日現在)	(平成23年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	4,591	5,125
支払手形及び買掛金	3,033	3,818
短期借入金	1,129	829
未払法人税等	33	36
賞与引当金	128	184
役員賞与引当金	20	10
製品保証引当金	23	29
その他	222	215
固定負債	1,622	1,586
長期借入金	867	817
退職給付引当金	482	490
役員退職慰労引当金	253	264
その他	18	13
負債合計	6,214	6,711
(純資産の部)		
株主資本	8,065	8,144
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,833	1,831
利益剰余金	4,518	4,587
自己株式	△ 121	△ 110
その他の包括利益累計額	△ 0	△ 6
その他有価証券評価差額金	37	28
繰延ヘッジ損益	-	△ 0
為替換算調整勘定	△ 37	△ 34
新株予約権	64	65
少数株主持分	0	0
純資産合計	8,129	8,204
負債純資産合計	14,343	14,915

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	4,757	6,321
売上原価	3,868	4,924
売上総利益	889	1,396
販売費及び一般管理費	1,099	1,256
営業利益又は営業損失(△)	△ 210	140
営業外収益	34	47
営業外費用	9	16
経常利益又は経常損失(△)	△ 184	171
特別利益	—	3
特別損失	0	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△ 184	171
法人税・住民税及び事業税	6	29
法人税等調整額	△ 211	40
少数株主損益調整前四半期純利益	20	101
少数株主利益	0	0
四半期純利益	20	101

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20	101
その他の包括利益	△ 27	△ 6
その他有価証券評価差額金	△ 17	△ 9
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 0
為替換算調整勘定	△ 5	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△ 4	2
四半期包括利益	△ 7	95
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 7	94
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 741	△ 109
投資活動によるキャッシュ・フロー	542	△ 32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 0	△ 373
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 205	△ 514
現金及び現金同等物の期首残高	895	1,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	690	716

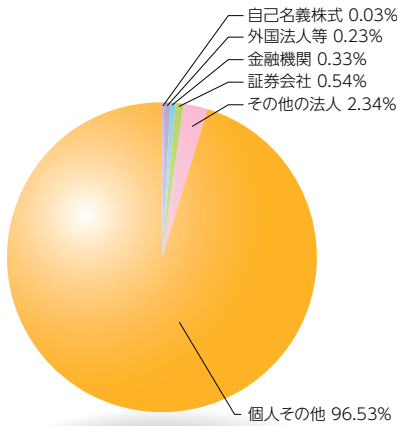
(注) 各計算書において、記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (平成23年9月30日現在)

株式の状況

- ①発行可能株式総数 ……………30,000,000 株
- ②発行済株式総数 ……………11,020,000 株
- ③1単元の株式数 ……………100 株
- ④株主数 ……………2,988 名

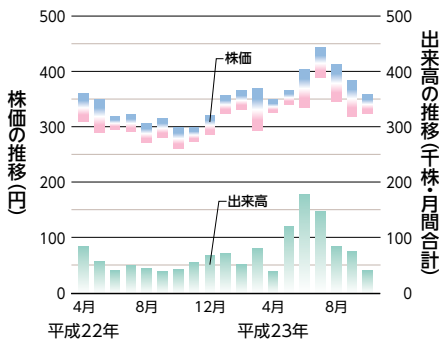
所有者別分布状況



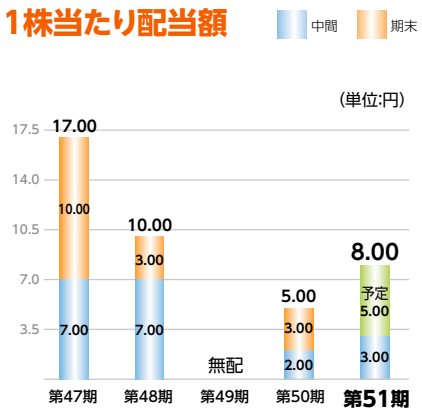
大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社タカマツ	810	7.35
高松機械工業取引先持株会	746	6.78
日本生命保険相互会社	480	4.36
高松機械工業社員持株会	435	3.96
北国総合リース株式会社	433	3.93
株式会社北国銀行	408	3.70
三井住友海上火災保険株式会社	408	3.70
明治安田生命保険相互会社	360	3.27
株式会社朝日電機製作所	347	3.15
高松明毅	330	3.00

株価インフォメーション



1株当たり配当額



会社の概要 (平成23年9月30日現在)

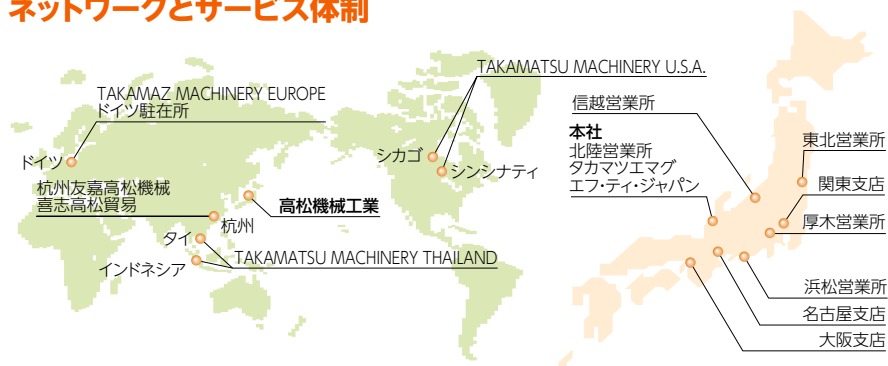
会社概要

商号	高松機械工業株式会社
設立	昭和36年7月
資本金	18億3,539万円
本社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従業員数	405名
子会社および関連会社	TAKAMATSU MACHINERY U.S.A., INC. TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTD. TAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbH 喜志高松貿易(杭州)有限公司 株式会社タカマツエマグ 杭州友嘉高松機械有限公司 株式会社エフ・ティ・ジャパン
ホームページアドレス	http://www.takamaz.co.jp

役員

代表取締役社長	高松 喜与志
常務取締役(生産本部担当)	前田 充夫
常務取締役(営業本部担当)	中西 与平
常務取締役(管理本部担当)	溝口 清
取締役(営業本部副本部長兼国内営業部長)	川上 友安
取締役(生産本部副本部長兼製造部長)	宮川 隆
取締役(営業本部海外営業部長)	徳野 穰
取締役(生産本部生産管理部長)	中川 進
取締役(管理本部総務人事部長)	高松 宗一郎
取締役(社外)	中西 祐一
常勤監査役	池上 佳信
監査役(社外)	鍛冶 敏弘
監査役(社外)	杖村 修司

ネットワークとサービス体制



製品のご紹介



NEW XB-1000

同時に4つの軸をコントロールできる複合加工機が遂に誕生!! この1台があれば加工途中の在庫は皆無です。製品の品質安定と必要最小限のスペースで、効率の良い生産を実現します。



NEW XY-120 PLUS

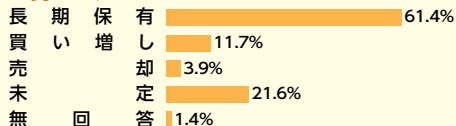
従来機より設置スペースを30%縮小し、よりコンパクトな複合加工機にモデルチェンジしました。自動車部品や医療機器などの複雑な形の加工に最適です。

アンケートのご報告

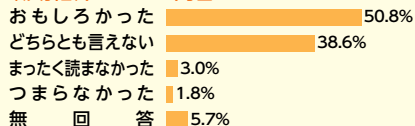
第50期株主通信に同封しました「株主アンケート」におさまっては、たくさんのご回答をいただき誠にありがとうございました。アンケートの集計が完了しましたので、その一部ですがご報告させていただきます。

アンケート回答数 889名
アンケート返信率 30.1%

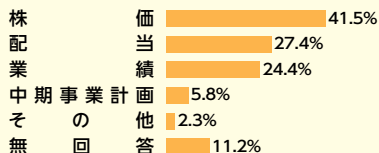
●当社の株式について今後どのような方針をお持ちですか?



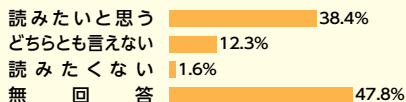
●第50期株主通信について、職場紹介ページの内容はいかがでしたか?



【上記方針を決定するための判断材料はなんですか? (複数回答可)】



●職場紹介ページを今後も読みたいと思いますか?



387名の皆様よりいただいたご意見・ご質問の中からその一部をご紹介します。
貴重なご意見をいただきありがとうございました。

- 大震災の影響が懸念されますが、業績の回復を期待しています。(36歳男性)
- 御社の技術力を集中して海外を先取る商品の開発に成果を上げることを期待します。(81歳男性)
- 事業内容等に関して、PRが不足しているように感じる。良さをアピールするようにしてほしい。(59歳男性)
- 新製品の開発を進め、海外へどんどん進出してほしいです。(63歳女性)

株主の皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、企業価値の向上およびIR活動の拡充に努めてまいります。今後とも更なるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月中		
株主確定基準日	(1) 定時株主総会	3月31日	
	(2) 期末配当金	3月31日	
	(3) 中間配当金	9月30日	
	(4) その他必要ある時	あらかじめ公告して定めた日	

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (インターネットホームページURL)	☎0120-176-417 http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社ホームページに掲載	http://www.takamaz.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部	
お問い合わせ先	管理本部 企画経理部	TEL 076-274-1411(直通) FAX 076-274-1418

事業所



本社工場(工作機械事業)



第2工場(コレットチャック生産)



第3工場(自動車部品加工)



開発センター(IT関連製造装置)



TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

ホームページ <http://www.takamaz.co.jp>

2100
UD FONT

このパンフレットは再生紙を使用しています。

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

